



Nippon Professional Baseball Organization

Hp:npb.jp

プレスリリース

ココロ動く、未来へ。
スカパー!

2017年7月12日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

6月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の6月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

亀井 善行
(読売ジャイアンツ)
初受賞

亀井選手は、6月18日(日)東京ドームで行われた対千葉ロッテマリーンズ3回戦、4対5で迎えた延長12回裏、一死一、二塁の場面で右翼席へ劇的な逆転サヨナラ3点本塁打を放ちました。

この試合、負けると球団初の交流戦最下位が決まる巨人は、2回に阿部選手が先制点となる本塁打を放つと、続く3回にも追加点をあげました。さらに4回には、阿部選手が2打席連続となる本塁打を放ち、リードを広げました。しかし、千葉ロッテは5回に犠飛で1点を返すと、8回には2点本塁打で試合を振り出しに戻します。亀井選手は、8回と10回に前を打つマギー選手が敬遠をされ打席に立ちますが、凡打と三振に終わります。12回表に勝ち越しを許して迎えたその裏、この日3度目となるマギー選手の敬遠後の打席を迎えた亀井選手は、1ボール1ストライクからの3球目を見事に右翼席へ運び、劇的なサヨナラ勝ちを呼び込みました。3度目の勝負で決着をつけた亀井選手の目には涙が溢れ、高橋監督の監督通算100勝目に花を添える一発となりました。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

福田 秀平
(福岡ソフトバンクホークス)
初受賞

福田選手は、6月25日(日)福岡 ヤフオク!ドームで行われた対埼玉西武ライオンズ12回戦、5対6で迎えた9回裏、二死一塁の場面で右翼席へ劇的な逆転サヨナラ2点本塁打を放ちました。

この試合は初回に福岡ソフトバンクが1点を先制したものの、埼玉西武が3回に同点に追いつき、4回に4点をあげ勝ち越し。勝利を諦めない福岡ソフトバンクは、6回に長谷川選手の2点本塁打、7回に高田選手の適時打で1点差に迫りました。8回に埼玉西武が再びリードを2点に広げるものの、その裏に高田選手が2打席連続の適時打を放ち再び1点差とし迎えた9回は、一死から柳田選手が内野安打で出塁。二死後、8回に代走から途中出場の福田選手が迎えたこの日の初打席で、2ボール1ストライクからの4球目を見事に打ち返す逆転サヨナラ本塁打を放ち、チームに劇的なサヨナラ勝利をもたらしました。逆転サヨナラ本塁打は今シーズンのパ・リーグでは初、福田選手にとってもサヨナラ打はプロ11年目で初となりました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



Nippon Professional Baseball Organization

Hp:npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度		
8月度		
9月度		



Nippon Professional Baseball Organization

Hp:npb.jp



(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)